

◆令和5年度区市町村高次脳機能障害者支援促進事業実施状況一覧

資料 6

区市町村		実施機関	支援員		支援事業の実施状況	連絡会等構成機関一覧												連絡会開催状況		相談状況 ^{注1)}		その他支援普及事業
			支援員数	職種		医療機関	行政機関	保健センター	保健センター	相談・支援センター	就労支援機関	通所等施設関係	当事者・家族会	高齢・介護・看護	児童・教育機関	社会福祉協議会	その他	開催回数	内容	(直接相談実人数)	(延べ電話相談件数)	
1	中央区	中央区福祉保健部福祉センター	1	保健師	・講演会:年2回 ①一般区民対象:29名参加 ②当事者向け(交流会で実施):8名参加 ・高次脳機能障害者交流会:6回、延べ49人参加 ・個別相談:①医師による専門相談年2回(2件)②交流会と同日に専門職・保健師による相談3件 ③随時、面接相談(保健師対応)198件 ・関係者連絡会:2回(事業紹介、事例検討会、情報交換等)	○	○	○	○	○							2	第1回:区内相談支援従事者、関係者対象に情報交換 第2回:事例検討会(区内相談支援従事者、関係者対象)	22人	99件	・関係機関(医療機関・就労支援事業所・地域包括支援センター等)から連絡、相談、ケース会議への参加(62件) ・圏域連絡会、研修等への出席	
2	港区	港区立障害保健福祉センター	6	作業療法士 言語聴覚士 精神保健福祉士 社会福祉士	・個別相談(相談員配置) ・講演相談会(区民、当事者、家族対象)、集合相談を実施 ・相談員と当事者家族がペアになり、定期相談会を月1回実施(情報提供・支援機関への紹介等) ・小児領域と成人、高齢領域に分けた領域別相談会を4回実施 講演相談会・定期相談会・領域別相談会は、障害保健福祉センター指定管理業務として実施。		○	○					○					なし	延べ24人(21人)	7件	・講演会:令和5年11/18「会話は共同作業～失語症の方とよりよいコミュニケーションをとるために～」 講師:言語聴覚士 宇野園子氏/港区社会福祉協議会傾聴ボランティア田中泉氏 ・研修会: ①令和5年9/29「わかりにくい高次脳機能障害をわかりやすく」 講師:神奈川リハビリテーション病院リハビリテーション科部長 医師 青木重陽氏、 ②令和6年3/1「高次脳機能障害の職業リハビリテーション～入院から退院を目指して～」 講師:神奈川リハビリテーション病院職能科 作業療法士 露木拓将氏	
3	新宿区	新宿区立障害者福祉センター高次脳機能障害者グループ「竹とんぼ」	1	作業療法士	・相談事業:週1回(金曜日10時～15時)、相談受付、情報提供 ・機能回復訓練事業:週1回(金曜日10～15時)、創作活動、外出訓練等の当事者プログラム、家族支援 ・特別プログラム:区内在住の当事者に向けたプログラムの開催月1回 金曜13時30分～15時 ・関係機関等との連携:情報交換や交流会(対象:高次脳機能障害者及びその家族当事者定員10名程度)		○	○	○				○				3	新宿区高次脳機能障害者支援連絡会	(面接相談)延べ361人(出張相談)延べ3人	延べ21件	機能回復訓練事業(グループ訓練) ・毎週金曜日 染物活動を中心に手工芸を実施 ・地域出店実績 四谷ひろば(1回)、手づくりマーケットin新宿区(1回、2日間実施) ・外出訓練(0回) ・講演会(0回) ・当事者会サポート(10回) 関係機関見学(1回) ・施設間勉強会(1回)	
4	文京区	文京保健所 予防対策課精神保健係	1	保健師	・文京区高次脳機能障害関係講演会の実施 ・情報提供 ・個別相談		○	○	○									なし	11人	95件	・講演会:「専門医から学ぶ!高次脳機能障害と認知症の違い」47名参加 ・個別相談会(12月、3月開催)6名参加	
5	台東区	台東保健所 保健予防課精神保健担当	1	保健師	精神保健福祉支援研修として、区職員に加え、区内医療機関や介護事業を対象に、高次脳機能障害に関する研修を実施した。	○	○						○			警察署 民生委員 児童委員	1	支援事業実施状況を参照	0人	5件	・幼児用ヘルメット無償配布の通知を発送する際、MTBI啓発リーフレットを同封、また窓口に同リーフレットを置き、来所者に対して啓蒙活動を実施	
6	墨田区	すみだ福祉保健センター	1	社会福祉士	・相談支援事業(月曜日～金曜日 9時～16時) 高次脳機能障害者、家族、関係機関からの個別相談に対する支援 ・高次脳機能障害者に対するグループ訓練(水曜日午後) 外出、調理、創作活動を通じて障害への自己理解、障害状況の軽減等を目指し、自立、社会復帰の支援や啓発活動 ・講演会:年1回 ・関係機関との連携	○	○	○						○			2	・6/21 高次脳機能障害者支援ネットワーク会議(高次脳機能障害に関する社会資源や各機関の役割等の共有、意見交換) ・R6/1/24 高次脳機能障害者支援ネットワーク連絡会(事例検討を行いケースに対する支援の見直しや具体案の提案)	57人	70件	地域支援(普及啓発活動や社会資源の調査、開拓) ・令和5年度高次脳機能障害講演会を、障害を持つ本人やご家族、一般区民や支援者を対象に開催。 ・「見えない障がいと生きる当事者のこころ家族のこころ」(墨田区スクールカウンセラー連絡会にて出前講座、11/11日開催)参加者41人。 ・墨田区スクールカウンセラー連絡会にて出前講座(1/19開催) ・家族会との連携:家族のつどい2回開催。(5/27、10/14)当事者のつどい2回開催(12/19、3/9)。当事者・家族のつどい1回(8/24) ・関係機関会議:①墨田区高次脳機能障害者支援ネットワーク会議年1回②墨田区高次脳機能障害者支援ネットワーク連絡会年1回③高次脳機能障害者支援普及事業圏域連絡会年2回(WEB開催)④東京都区市町村高次脳機能障害者支援者促進事業支援員連絡会年2回(WEB開催)	
7	江東区	江東区障害者福祉センター	3	事務	・相談事業 ・専門相談(毎月1回) ・家族交流事業(毎月1回) ・リハビリ事業(STIによるグループ訓練、毎月2回) ・講演会事業(年1回) ・関係施設等支援促進連絡会(年4回)	○	○	○		○	○	○					4	・前年度実績報告 ・今年度の事業予定及び意見交換 ・各事業所紹介、当事者への支援について ・介護保険との連携について ・相談シートの内容について ・事例検討	8人	33件	・リハビリ事業(失語グループ、注意・記憶グループ)(それぞれ月2回) (それぞれ月2回) ・当事者、家族交流会事業(月1回) ・講演会事業(当事者の話を聞く会)実施 ・江東区障害者福祉センターホームページに事業紹介を掲載 ・区市町村高次脳機能障害者相談支援員連絡会参加 ・区東部高次脳機能障害者支援連絡会参加 ・江戸川区高次脳機能障害者支援事業ネットワーク会議参加	

※ 本資料は、東京都に提出された令和5年度高次脳機能障害者支援促進事業実績報告書の記載内容をまとめたものです。
※ 新型コロナウイルス感染症は「コロナ」と表記しています。

注1) 相談状況は、各自自治体の報告書の記載どおりに掲載

◆令和5年度区市町村高次脳機能障害者支援促進事業実施状況一覧

区市町村		実施機関	支援員		支援事業の実施状況	連絡会等構成機関一覧										連絡会開催状況		相談状況 ^{注1)}		その他支援普及事業
			支援員数	職種		医療機関	行政機関	保健センター	相談・支援センター	就労支援機関	通所等施設関係	当事者・家族会	高齢・介護・看護	児童・教育機関	社会福祉協議会	その他	開催回数	内容	(直接相談) (実人数)	
8	品川区	品川区旗の台障害児者相談支援センター	2	作業療法士	・相談支援(当事者、家族対象) ・関係機関との連携 ・広報・普及啓発: 区民、関係機関への広報、周知 ・支援者養成講習: 基礎知識の理解、当事者支援手法の習得	○	○	○	○							なし	10人	21件	・高次脳機能障害者サポーター養成講座の開催(1回、5日コース。参加者24名) ・品川区普及啓発事業(ケーブルテレビ品川の動画撮影にて取り組みを紹介) ・その他 区南部圏域高次脳機能障害支援普及事業 「専門的リハビリテーションの充実事業」高次脳機能障害症例検討会、事例提供(発表者として参加)	
9	目黒区	目黒区高次脳機能障害者支援センター	1	作業療法士	・相談: 1,736件 ・研修会: 第16回目目黒区高次脳機能障害者支援セミナー開催。約210名の申込み(医療機関・地域関係機関84%、当事者・家族・一般16%) ・目黒区高次脳機能障害者支援連絡会: 区内関係機関、区内及び近隣医療機関等31機関参加 「目黒区高次脳機能障害者支援センターの取り組みについての報告」について意見交換会 ・めぐる高次脳機能障害者サポーター養成研修: 介護事業者連絡会の協力で全体会で周知し広く募集して実施	○	○	○	○	○	○	○				1	①目黒区高次脳機能障害者支援センター・高次脳機能障害に関する関係機関からの報告 ②意見交換(社会資源の共有・ネットワーク作り・課題共有等)	直接相談 768件 電話相談 (968人)	延べ 1736件	・連絡会1回: 参加31機関 ・支援セミナー 開催回数: 1回 オンライン(1/22～2/9 YouTube配信) 講演者: 羽田拓也氏(東京慈恵会医科大学附属病院リハビリテーション科診療医長) 内容: 「高次脳機能障害者の就労支援」 ・サポーター養成研修 開催回数2回(8/8、12/12)、参加人数: 第1回4名、第2回10名 内容: 目黒区内の通所介護事業所を対象に、障害の特性・日常生活上に生じる影響・活用できる制度、サービスなど高次脳機能障害の基礎知識についての講義やサポーターに期待されるサポート方法の他、支援をする上での注意点や当事者の声などの内容を、スライドや動画を用いて実施。本年度より質疑応答を入れ、講義時間を伸ばした。研修修了者には、修了証とサポーター認定缶バッジを配布。
10	大田区	志茂田福祉センター障がい者総合サポートセンター	2	福祉	【広報・啓発活動】 ・高次脳機能障がいについての出前講座の実施 大田区生活保護ケースワーカー対象4回、民生委員・児童委員対象1回 ・講演会の開催 高次脳機能障がいセミナー(就労支援者事業所向け)30分程度のミニ学習会 高次脳機能障がいセミナー(行政職員向け) 2/26 オンライン研修 ・広報用の高次脳機能障がいリーフレットの作成 ・高次脳機能障がい者家族のための冊子の配布 【高次脳機能障がい者対象のプログラムの実施】 ・志茂田福祉センター: 生活課題改善プログラム(OT毎月2回) ・障がい者総合サポートセンター: 高次脳機能障害者プログラム(OT等により実施。2施設で延べ258名(志茂田66名・サポート: 2階172名、4階20名))	○	○		○	○	○			○	学識経験者(東京工科大学作業療法学科)	2	大田区の支援事業報告、区内関係機関の情報交換、ミニ学習会等 第1回: 8/3オンライン開催 第2回: 12/13集合型開催	159件	646件	・荏原病院を中核とする区南部圏域高次脳機能障害普及支援事業への参加、症例報告等の参加 ・高次脳機能障害家族会活動への参加、周知等の協力
11	世田谷区	社会福祉法人世田谷ボランティア協会ケアセンターふらっと	1	相談員	前年度からの継続相談167名と年度当初からの新規相談56名を加え、合計で223名の相談支援を相談員2名(兼務)で実施。 今年度の新規の相談経路は、ご本人とご家族が33%、病院MSWなどが27%、ケアマネージャーと地域包括支援センターなどが13%、その他が20%であった。相談内容については、退院後の地域生活やリハビリテーション、日中の暮らし方などが多かった。医療機関との連携では、医療的ケアの相談のみならず、障害者手帳や障害者年金の申請に必要な診断書の作成なども同行支援した。基礎疾患では、脳血管性の疾患が43%と最も多いが、発症前からの既往歴に精神疾患や発達障害のある(疑われる)ケースが増えている。 年齢別では、40代～50代が64%であり、復職や新規就労の希望が多いことから自立訓練および就労移行支援事業所などの利用に繋げるケースが増えている。相談支援機関の長期化に伴い、ご本人からの相談内容の変化や、家族の高齢化に伴う家族機能の変化に合わせて、個別の生活の再設計が必要となるケースが年々増加している。そのため、関係機関との連携では、就労支援機関、地域障害者相談支援センター、あんしんすこやかセンターなどと役割分担を検討して実施することが必須となっている。	○		○								194	①高次脳機能障害の評価などに基づき、今後の支援プログラムや福祉サービスの利用などについて当事者を交えて検討 ②退院後の在宅生活に向けて、住宅改修や福祉用具の手配、転居など個別に必要な支援を実施 ③入院中及び退院時のカンファレンス (初台リハビリテーション病院16回、世田谷区立保健センター専門相談課20回、東京リハビリテーションセンター世田谷19回、東邦大学医療センター大橋病院17回、その他122回)	新規 56件 継続 233件		1.世田谷高次脳機能障害関係施設連絡会(3回、Zoom)「りんごの木(高次脳機能障害当事者会)」代表廣井氏と参加 2.東京都心身障害者福祉センター高次脳機能障害相談員連絡会(主催: 東京都心身障害者福祉センター) 3.高次脳機能障害普及啓発専門リハビリテーションの充実(区西南部)(Zoom)(主催: 日産玉川病院区西南部高次脳機能障害支援センター) 4.高次脳機能障害支援者地域研修会(主催: 世田谷区保健センター専門相談課) 5.「高次脳機能障害支援に関する打ち合わせ」(2回) ・世田谷区障害福祉課との支援状況の共有 ・「世田谷区が目指す高次脳機能障害の標準的な支援スキーム」(主催: 世田谷区障害保健福祉課) 6.地域のイベントへの参加 7.研修会など ・東邦大学医療センター大橋病院オンラインセミナー ・第47回日本高次脳機能障害学会 ・北多摩南部高次脳機能障害支援センター講演会 ・「しゃばサヴァの勉強会～高次脳機能障害と触法～」(相談員が講師として参加) ・若年制認知症講演会「わたしらしく笑顔で暮らす」
12	渋谷区	基幹相談支援センター	1	作業療法士	・障がい者基幹相談支援センター内に専門相談を設置 ・個別事例、事業促進に関わる支援会議: 月1回実施 ・5月・11月に連絡会を開催 ・委員の各専門分野における支援のアプローチについての討議や、事業として初の開催となった講演会、勉強会の報告を行った。令和6年度から事業運営を区から基幹相談支援センターに移管。	○				○	○		○			2	【1回目5月】 ・令和4年度専門相談報告 ・令和5年度計画について ・各機関における支援の可能性について 【2回目11月】 ・講演会、勉強会報告 ・新規委嘱委員からの意見	40人	649件	・講演会(令和5年6月10日開催) 内容: 当事者家族の体験談、発症から退院後の地域社会に戻られた現状について 開催方式: 集会形式 ・勉強会(令和5年9月6日開催) 概要: リハビリテーション科医師による高次脳機能障害の支援方法についての講座 開催方式: オンライン ・コミュニティバスにチラシ掲載 概要: 地域住民が使用するコミュニティバスにチラシを掲載することで高次脳機能障害専門相談の周知を図った。対象: 渋谷区民、方法: 区内のコミュニティバス22台にチラシを掲載した。 ・家族会発足の支援 概要: 当事者家族が会を立ち上げし、基幹相談支援センター理学療法士が後方支援を実施。

※ 本資料は、東京都に提出された令和5年度高次脳機能障害者支援促進事業実績報告書の記載内容をまとめたものです。
※ 新型コロナウイルス感染症は「コロナ」と表記しています。

注1) 相談状況は、各自自治体の報告書の記載どおりに掲載

◆令和5年度区市町村高次脳機能障害者支援促進事業実施状況一覧

区市町村	実施機関	支援員		支援事業の実施状況	連絡会等構成機関一覧											連絡会開催状況		相談状況 ^{注1)}		その他支援普及事業
		支援員数	職種		医療機関	行政機関	保健所・保健センター	相談・支援センター	就労支援機関	通所等施設関係	当事者・家族会	高齢・看護・介護・看護	児童・教育機関	社会福祉協議会	その他	開催回数	内容	(直接相談) (実人数)	(延べ電話件数相談) (件数)	
13	中野区	中野区障害者地域自立生活支援センター	1	臨床心理士	【相談支援】 ・専門相談(当事者・家族対象) ・当センター内一般スタッフに対する助言、指導 ・当事者のグループ・リハビリの運営(月1回程度) ・家族会への参加・支援 ・毎週火曜日に「総合相談」日を設け、初回相談を集中して受ける体制整備 【関係機関との連携と社会資源の開拓】 ・基幹型相談支援センターと連携。家族会や当事者グループの拡充を図る。 ・高次脳機能障害関係機関連絡会(年1回)開催 すこやか福祉センターや地域包括支援センター、医療機関、就労施設等との連携、ネットワーク拡大 【広報・普及活動】 ・高次脳機能障害普及啓発セミナー(年1回)開催 ・広報紙「テネーロ」を毎月1回発行	○	○		○	○	○					1	2023年12月14日、参加13か所施設(地元病院は1か所参加) 中野区障害者地域自立生活支援センターより昨年度の実績報告。 つむぎでの取り組み等の紹介を行なった。 主な点は、 1今年度相談枠を1つ増やし1日4枠とした。 2家族会支援の報告をおこなった。 特に家族会と同時にこなわれて いる当事者のグループ活動について報告した。 他、参加者意見交換をおこなう	243人	186件	・当事者支援 専門相談後のフォロー ・高次脳グループ・リハビリ、家族会の開催(家族が参加しやすいように毎月1回同日同時刻に開催) ・グループ・リハビリ:発声や認知を中心に実施(ST) ・高次脳機能障害支援普及事業の各種研修・連絡会に参加、慶應義塾大学病院にて開催される圏域連絡会や研修に参加 ・介護保険との連携・地域ケア会議への参加要請や、地域包括ケアセンター等への助言。 ・グループホーム入居のため、見学同行、居宅訪問等の支援を実施 ・高次脳機能障害理解促進セミナー開催 10/22「高次脳機能障害との基礎理解と家族支援」 講師:渡邊修氏 1/30「知ってみよう家族会」 講師:高次脳機能障害者と家族の会代表今井雅子氏
14	杉並区	杉並区保健福祉部障害者生活支援課 地域生活支援担当	1	理学療法士		○	○	○	○	○	○	○				2	第1回(5/16) 「杉並区高次脳機能障害者関係機関連絡会設置要綱」について説明 今年度の取り組みについて説明(関係機関連絡会、支援セミナー、家族交流会等) 第2回(2/27) ・失語症者向け意思疎通支援事業の進捗状況について説明 ・来年度の連絡会の運営等について説明	67名	499件	・高次脳機能障害者交流サロン「杉ハイ」の開催12回 参加者総計73名 ・高次脳機能障害支援者セミナーの開催2回 1回目(9月9日、参加者37名) 講師:慶応義塾大学医学部 リハビリテーション医学教室 リハビリテーション科専門医山田裕歌氏 2回目(3月2日、参加者54名) ・高次脳機能障害者支援専門セミナーの開催 11月16日開催 27名参加 失語症者向け意思疎通支援者派遣事業を考える～中野区の実践例紹介～ ・家族交流会の実施 講師:当事者加藤俊樹氏、ST米谷瑞恵氏 1回目(6月・17日開催)8家族参加 2回目(11月18日開催)10家族参加 3回目(2月17日開催)10家族参加
15	豊島区	豊島区保健福祉部障害者福祉課 心身障害者福祉センター	1	作業療法士		○	○	○	○	○		○	○	○	帝京平成大学	2	第1回:令和5年7月21日 ①14時～16時:25名、②18:30～20:30分:7名 ・R4年度実績報告、R5年度事業予定 ・R5年度区市町村支援員連絡会の情報伝達 ・参加機関同士の情報交換 第2回:令和6年3月8日 ※17名参加申込みあったが、センターの都合により当日中止	一般相談22件(2人) 専門相談23件(5人)	185件	1. 講演会 12月15日 14時～16時 参加対象:区内在住在勤の当事者・家族・支援者 事故や病気などで高次脳機能障害になったときに生活と働くを守ってくれる障害年金制度 講師:YORISOU社会保険労務士法人代表社員 松山 純子氏 2. 周知啓発 図書館展示:テーマ「障害者支援」(高次脳機能障害や失語症を含む)周知パネルと関連図書の展示・貸し出し. 期間:6月24日～7月27日 ・区広報誌やホームページへの周知記事の掲載 3. 家族支援事業 10月28日(土)家族交流会開催 参加者:家族6名、当事者3名 4. 事例検討会 11月10日(金)ミニ講座+事例検討会 5. 出前講座 11月30日(木)豊島区介護支援専門員研修会 「生活期における高次脳機能障害」 講師:センター職員
16	北区	北区福祉部障害者福祉センター事業係	5	保健師 福祉		○	○	○	○	○		○						専門相談年8回(13件16名) 訓練・来所相談等(76人)	276件	①高次脳機能障害講演会(一般区民向け) テーマ:「高次脳機能障のある方の仕事復帰」 日時:令和6年1月31日(水)午後2時15分～4時30分 会場:赤羽文化センター 3階第一視聴覚室 参加者:23名 ②高次脳機能障害家族会学習会 テーマ:「知っておきたい制度アレコレ!」 日時:令和6年3月18日(月)午後1時30分～3時 会場:十条台ふれあい館第1ホール 参加者:13名 ③音楽療法講演会 テーマ:高次脳機能障害交流会 日時:令和5年11月16日(木)午後1時30分～3時 参加者:14名
17	荒川区	荒川区立心身障害者福祉センター	1	社会福祉士	・社会生活訓練(グループワーク) ・相談事業:土日・祝日・年末年始を除く毎日 ・当事者・家族・関係機関向け啓発活動:講演会等 ・関係機関とのネットワーク作り	○	○	○	○	○		○	○	○		1	区東北部地域リハビリテーション協議会1回 3/13オンライン開催。関係機関の現状及び課題等について情報交換等	10人	35件	・障がい者地域自立生活支援セミナー5回 参加者67名 ・高次脳機能障がい講演会1回 参加者40名

◆令和5年度区市町村高次脳機能障害者支援促進事業実施状況一覧

区市町村		実施機関	支援員		支援事業の実施状況	連絡会等構成機関一覧											連絡会開催状況		相談状況 ^{注1)}		その他支援普及事業
			支援員数	職種		医療機関	行政機関	保健センター	相談・支援センター	就労支援機関	通所等施設関係	当事者・家族会	高齢・介護・看護	児童・教育機関	社会福祉協議会	その他	開催回数	内容	(実人数)	(延べ件数)	
18	板橋区	板橋区立障がい者福祉センター	1	社会福祉士 精神保健福祉士 相談支援専門員	区市町村高次脳機能障害者支援促進事業を受け連絡会等へ参加し、地域支援力を高めるため、以下の事業を実施している。 ・問合わせのあった当事者・家族への個別相談支援の実施や、医療機関からの問合わせに対する情報提供、区内の家族会やピアカウンセリング事業紹介(基本相談支援)。 ・医療機関、就労支援等の障がい者施設、当事者・家族会、介護支援専門員等との連携を目的に、板橋区地域自立支援協議会高次脳機能障がい部会、及び、準備会に参加。 ・高次脳機能障がいセミナーを開催。 ・地域活動支援センター事業にて機能訓練(OT・PT・ST)を実施(介護保険認定者は介護保険優先ではあるが、利用できる場合あり)。	○	○		○	○	○	○				3	板橋区地域自立支援協議会高次脳機能障がい部会として開催(対面・オンライン含むハイブリッド開催)豊島病院と共催 ①第1回 R5 6/23 ・令和4年度部会報告、令和5年度予定報告、板橋区高次脳機能障がい者支援状況報告。各事業所・機関による情報交換会。高次脳クラウドコミュニティ立上げについて。 ②第2回 R6 1/13 ・「当事者・家族支援交流会」当事者・家族の登壇とトーク(障がい者福祉センターOT)・退院後の家族支援・ブレイクアウトセッション(高次脳機能障がい者・家族支援交流会) ・高次脳クラウドコミュニティ報告。 ③第3回3/12 事例検討会	19名	66件	・令和5年度高次脳機能障がいセミナーの主催(支援者向け)令和6年1月20日(土)18:00～20:00 「高次脳機能障がいと地域支援に関する座学」(一般向け)実施日:令和6年2月24日(土)10:00～12:00 「高次脳機能障がい者の家族として伝えたいこと」 ・板橋区失語症若者の会:スイスイの会に参加STが毎月1回参加。 ・障がい者福祉センター内でコミュニケーションサロン「カナリア会」開催(月1回 第一木曜午前中)。 ・高次脳クラウドコミュニティ 自立支援協議会高次脳機能障がい部会長提唱によるオンライン会議を2回開催。 [その他] ・区市町村高次脳機能障害者支援促進事業支援員連絡会への参加 ・区西北部高次脳機能障害支援普及事業への参加 ・区市町村高次脳機能障害者相談支援員連絡会への参加	
19	練馬区	練馬区立心身障害者福祉センター	3	相談支援員 医師	1相談等事業 随時相談(月～金) 医師専門相談(毎月第1、3金曜日) 2 自立訓練通所事業利用者検討会議毎月1回 ※ 4 回/12回を書面開催とした 3 講演会(区民向け) 年1回 4 練馬区高次脳機能障害者支援協議会年2回 ※うち1回は、事例検討会を開催 5 中途障害者支援事業相談件数報告 四半期ごと 6 自立訓練、池域活動支援センター事業、交流室の利用可能な事業の促進	○	○	○			○	○		○	入所施設 ヒブディ 高次脳機能障害支援ホーム	2	区担当者、入所施設、ボランティアセンター、介護保険事業所等と連携し、高次脳機能障害者への対応事例や訓練事業の紹介、情報交換を行う。	39件	212件	1 練馬区中途障害者支援事業家族・地域支援事業)講演会 11/18 「なるほど!! 高次脳機能障害～高次脳機能障害の症状と接し方を知ろう」講師:中島英樹 東京都立豊島病院 リハビリテーション科 部長 2 練馬区高次脳機能障害者支援協議会 (1)総会 6/28 10:00～12:00 年間予定、情報交換等 (2)支援事例検討会 9/28。「重度の記憶障害、発動性や意欲の低下のある50代の方の社会復帰支援」講師:中島英樹 東京都立豊島病院 リハビリテーション科 部長 3 連絡会への参加(オンライン参加) ・市区町村高次脳機能障害者相談支援員連絡会(6/21、12/6) ・区西北部高次脳機能障害支援普及事業圏域連絡会(6/15、3/16) 4 大泉圏域主任介護支援専門員連絡会開催大泉ほっとケアマネット会議にて講演。テーマ「中途障害者の社会復帰支援について」(11/21) 5 こーじーサロンの開催(月1回開催) 6 家族会等への支援(※必要に応じて、相談や情報共有	
20	足立区	足立区障がい福祉センター	2	作業療法士 福祉	1 相談支援 ・足立区障がい福祉センター ア自立生活支援係:障がい者ケアマネジメントの実施・専門職による個別専門相談・評価 イ就労促進訓練係:専門職による評価、就労プログラムの提供、定着支援 ウ社会リハビリテーション係:高次脳機能障がいと診断された方の作業療法、言語療法、集団訓練、復職支援など (2)さくら会:相談支援の実施 2 セミナー (1)失語症セミナーの実施 参加人数15名 8月27日 (2)交流・勉強会の開催 4月9日/9月10日/11月2 5日 (3)高次脳サポーター育成研修の開催(5日間) 受講者6名	○	○	○	○	○	○					13	(1)運営委員会 10回 ・運営委員紹介 ・今年度の予定について ・情報共有 ・ネットワークの役割分担・準備・反省 ・次年度に向けて (2)ネットワーク(3回) 第1回(6/15) 困っていることの共有 第2回(9/30)区民向けセミナー就労に向けた健康管理と家族のサポートについて学ぶ(35名参加) 第3回(2/15)(支援者向け研修) 内容:権利擁護についてとグループワーク(24名参加)	〔自立生活支援係287件〕 新規31件 再来256件 〔就労促進訓練係684件〕 登録者94名 相談684件 〔社会リハビリテーション係44件〕 新規相談22件 通所者22名 〔NPO法人足立さくら会838件〕 新規実人数 22件 継続実人数 76件 延べ相談件数 450件	・相談だより(通信) ・SNSを活用しての普及啓発 ・問い合わせのあった病院にさくら会と足立区のパンフレット送付 ・家族・当事者交流会		
21	葛飾区	葛飾区地域活動支援センター	1	心理発達専門員	・高次脳機能障害者デイスービス:月・火・水 定員各10名 ・言語デイスービス:火・木 定員各10名 ・高次脳機能障害者家族会支援:定例会年6回 ・家族会ミニデイスービス:毎月第3土曜日 ・失語症の会:毎月第2土曜日 ・高次脳機能障害講演会(10/8) ・失語症講座(R6.3/9) ・高次脳機能障害者支援機関連絡会 講演会(7/12)事例検討会(R6.1/24) ・失語症講演会(R6.2/11)	○	○	○		○	○		○			2	第1回(7月12日) 講演会「高次脳機能障害と共に歩む～就労支援を中心に」 講師:高田耕太郎氏(いずみ記念病院医師)参加者:31名 第2回(R6. 1月24日) 事例検討会 講師:高田耕太郎氏(いずみ記念病院医師)参加者:18名	4件	67件	・高次脳機能障害者講演会(R5.10/8) 講師:東京慈恵会医科大学附属第三病院リハビリテーション科教授 渡邊修氏 参加者:43名 ・失語症サポーター養成講座応用編(R6.3/9) 講師:高橋政道氏(ST) 参加者:4名 ・失語症講演会(R6.2/11) 講師:横張琴子氏(ST) 参加者:32名	
22	江戸川区	NPO法人東京ソテリア地域活動支援センターはるえ野	2	精神保健福祉士 作業療法士	・専門相談会(年12回) ・随時相談 ・ネットワーク会議(3回) ・集団訓練(認知機能回、就労支援回) ・家族相談会(年6回) ・社会資源の把握及び開拓に努める。 ・普及啓発(高次脳機能障害について広く区民に広報) ・支援拠点機関(東京都心身障害者福祉センター)及び地域拠点機関(東京リハビリ病院)との連携。	○	○	○		○	○	○	○			3	ネットワーク会議 ・事業報告、事例検討、当事者・関係者からの報告、意見交流等	1,222件(85人)	834件	【普及啓発事業】 令和5年12月10日 高次脳機能障害・失語症がある方のクリエイティブリハビリ総参加者数:115名	

◆令和5年度区市町村高次脳機能障害者支援促進事業実施状況一覧

区市町村	実施機関	支援員		支援事業の実施状況	連絡会等構成機関一覧											連絡会開催状況		相談状況 ^{注1)}		その他支援普及事業
		支援員数	職種		医療機関	行政機関	保健所・保健センター	相談・支援センター	就労支援機関	通所等施設関係	当事者・家族会	高齢・介護・看護	児童・教育機関	社会福祉協議会	その他	開催回数	内容	(直接相談人数)	(延べ電話件数)	
23	八王子市	医療法人社団 永生会 永生病院 高次脳機能障害者相談室 はっぱ	2	言語聴覚士 作業療法士	平成30年度より事業開始。 支援員配置2名+非常勤スタッフ2名。 相談対応：月～土（9:00～17:00） 専用相談携帯開設し相談対応	○	○		○	○	○				○	2	＜議案1＞令和4年度事業報告 令和5年度事業計画 ＜議案2＞八王子市の医療機関(又は介護保険領域)における高次脳機能障害者支援状況について ＜議案3＞就労・行政・保健所における高次脳機能障害者支援状況について ＜議案4＞その他(意見交換)	99名	687名	1. 社会資源の把握・開拓 ◆南多摩高次脳機能障害支援施設マップ第3版改定 2. 普及啓発 ◆当事者家族向け講演会の開催1回 ◆HP更新、パンフレット配布 3. 当事者・家族交流支援 ◆はちおうじ高次脳機能障害者家族会「はっちゃん」運営補助 4. 訓練機能 ◆集団リハビリテーションプログラム 対象：高次脳機能障害の診断のある方 65歳以下市内在住ないし市内医療機関・事業所利用者
24	武蔵野市	社会福祉法人武蔵野 武蔵野市障害者福祉センター 高次脳機能障害相談室 ゆいっと	1	言語聴覚士	・相談事業 支援員による電話相談、面談、訪問など 5日/週 ・障害者福祉センター嘱託リハビリテーション科医師による相談 1回/月(12回/年) ・当事者のフリーサロンの開催（土曜サロンを含む） 2回/月（23回/年） ・関係機関連絡会の開催 2回/年 ・関係機関連絡会運営委員会の開催4回/年	○	○		○	○	○					2	第一回(内容)講演 「臨床心理士から見た高次脳機能障害の支援」中央大学大学院非常勤講師山口加代子先生(参加者)57名 第二回(内容)事例検討 「地域で生活する高次脳機能障害者の事例検討」事例提供者：陽和会病院伊藤OT(参加者)48名	相談実人数66名 面接・訪問延べ人数365名	1100件	・北多摩南部圏域高次脳機能障害者支援普及事業 ①6市合同会議：3回出席（WEB開催） ②地域支援研修会：3回出席（WEB開催） ・区市町村高次脳機能障害者相談支援員連絡会2回出席(1回はWEB開催、2回目は参集開催にて現地参加した) ・地区別ケース検討会(西部第1)にて、ケアマネジャー対象に失語症の勉強会開催 2回 ・心のバリアフリー啓発事業講師(7/15「高次脳機能障害」武蔵野中央図書館職員対象)
25	三鷹市	三鷹市健康福祉部障がい者支援課 基幹相談支援センター 担当	2	保健師 社会福祉士 精神保健福祉士	市内在住の高次脳機能障がい者及びその家族・支援者等を対象に、以下の事業を実施 ①年間をとおして基幹相談支援センターにおいて相談支援を実施した。必要に応じて受診や事業所見学の同行等を行い、連携を促進。 ②専門医、療法士による個別相談会(土曜日開催 6回) ③三鷹市ホームページに高次脳機能障がい相談会の案内を掲載するとともに同障がいについての周知。	○	○		○	○	○					2	7月25日・高次脳機能障がいの方への就労支援について(事例検討)・東京都心身障害者福祉センターより(情報提供)・各支援機関活動報告 自己紹介、高次脳機能障がい者を受け入れる上での今後の課題、高次脳機能障がい者への支援状況(支援内容の変化や新たな取り組み等)。 2月27日・高次脳機能障がいの方への就労支援について(事例検討)・各支援機関活動報告 自己紹介、高次脳機能障がい者を受け入れる上での今後の課題、高次脳機能障がい者への支援状況(支援内容の変化や新たな取り組み等)。	28人	200件	—
26	青梅市	青梅市 障がい者サポートセンター	2	保健師 看護師	1. 相談支援 相談窓口は、市の障がい者福祉課と障がい者サポートセンターが窓口実施。 医療機関や在宅サービス事業所と連携 2. 認知グループ訓練の実施(OKG) 月2回(OT、保健師、看護師等)、 コロナウィルス感染拡大の余波を危惧し半日体制を継続。 参加者の状況に応じて、随時電話等で健康面や課題の進捗状況把握。 3. 関係機関との連携 医療関係者、家族会、居宅介護支援事業所および障害福祉サービス施設等と事例検討や連絡調整など実施。 4.広報、普及啓発 12月の障害者週間の折に、市役所ロビーで、OKG活動のパネルやパンフレット等による高次脳機能障害支援活動の紹介。OKGメンバーの作品展示と会場において相談会を実施。	○	○	○	○	○	○				年金事務所	4	・「わかくさ」通所者の生活支援など	実41件 延べ410件	延べ482件	1. 家族会支援：定例会は、年度3回実施。新規相談時臨時に合同面談を実施した。 家族会運営の就労支援グループ「アトリエなんてん」は、コロナ感染予防のため半日体制。 2. 「わかくさ」利用への支援：利用を紹介し、体験通所に同行。動機づけ支援を実施するとともに定着支援。 3. 就労にむけての支援：就労移行、連絡調整。「わかくさ」と認知グループ訓練OKGを連動させ就労への動機づけを実施。 障害者就労支援センターと連携 4. 西多摩高次脳機能障害支援センターと合同で専門相談を実施。
27	府中市	社会福祉法人 あけぼの福祉会 地域生活支援センター あけぼの	1	作業療法士	・学習会(年1回)、つながろう会(年2回)、家族さろんやさろんdeぼ～(年6回)を各々企画し実施。 ・相談支援：通院同行など医療機関との連携を重視。 ・その他：医療機関から復職や就労支援の依頼が来ることも多かった。	○	○		○	○	○	○			企業、配食サービス等	2	＜つながろう会＞関係機関連絡会 ・9月28日(木)13：30-15：00 調布ドリームの生活訓練・就労継続支援B型の見学 参加者：12名 ・2月22日(木)13：30-16：00 事例検討会 参加者：20名	57人	来所98人 同行14人 訪問24人 電話95人 メール・FAX18人 カンファ13人 関係機関323人 他7人 合計592人	・さろんの開催 家族さろん：全6回 さろんdeぼ～の：全7回 ・学習会の開催 ・出張講座 「入所施設への出張講座」、「医療機関への出張講座」

◆令和5年度区市町村高次脳機能障害者支援促進事業実施状況一覧

区市町村		実施機関	支援員		支援事業の実施状況	連絡会等構成機関一覧												連絡会開催状況		相談状況 ^{注1)}		その他支援普及事業
			支援員数	職種		医療機関	行政機関	保健センター	保健センター・相談・支援センター	就労支援機関	通所等施設関係	当事者・家族会	高齢・介護・看護	児童・教育機関	社会福祉協議会	その他	開催回数	内容	(実人数) (直接相談)	(延べ電話件数) (相談)		
28	調布市	社会福祉法人調布市社会福祉協議会	4	社会福祉士	・相談支援 ・普及啓発・理解促進・支援者養成等のための講演会実施 ・関係機関連絡会開催 ・北多摩南部医療圏関係機関連絡会への参加 ・広報誌等による事業PR	○	○			○	○	○	○		○	グループホーム アクア	3	・調布市高次脳障害者支援促進事業計画や進捗の確認、共有 ・各機関の高次脳機能障害者支援促進事業の動きについて	63人	464件	・支援者向け講習会「高次脳機能障がいのある方を支援するための基礎知識」(7/22) 講師：東京慈恵会医科大学附属第三病院リハビリテーション科教授 渡邊修氏 ・高次脳機能障がい事例検討会 内容：グループに分かれ事例検討・意見交換 講師：東京慈恵会医科大学附属第三病院リハビリテーション科教授 渡邊修氏 ・当事者向け講習会 講師：鳥津渡氏 ・多摩マインドフルコンサート 内容：高次脳機能障がい当事者による演奏会	
29	町田市	社会福祉法人まちだ育成会 ひかり療育園	1	社会福祉士	1. 相談支援：電話、面接、訪問 2. 当事者・家族の支援：当事者、家族のグルーピングを実施。(15回/年※年度当初の打合せ、年度末の振り返りを含む)① ひかりサロンニュースの発行(15回/年)② 当事者、家族から改めて発症の経緯や生活の聞き取り。 3. 関係機関との連携(21機関)：会議方式で情報交換等実施(3回/年)。南多摩医療圏域協力施設連絡会へのWEBによる参加(12 回) 4. 研修会及び講演会の開催：当事者・家族・支援者・一般市民を対象に普及啓発(年2回)。	○	○			○	○	○	○				3	第1回7月14日 各機関からの情報提供と近況報告 第2回11月24日 各機関からの情報提供と事例検討 第3回2月9日 各機関からの情報提供 東京都心身障害支援センターから報告 ひかり療育園の活動報告 次年度運営者の紹介	33件	52件	――	
30	小金井市	小金井市障害者地域自立生活支援センター	1	保健師	1.相談支援 ・当事者、家族等からの個別面談・助言・情報提供 ・必要に応じた支援計画を作成 2.関係機関との連携 3.社会資源の把握・開拓 4.広報・普及啓発 ・市民への広報 ・高次脳機能障害に関する理解促進のための研修会等の企画・実施	○	○			○	○	○	○				1	8/30講演会「高次脳機能障害のある方の社会的行動障害と対応」 講師：渡邊修氏 ※オンラインと対面のハイブリッド方式	14件	119件	・今年度より高次脳機能障害ピア相談を開始(8回、相談員懇談会1回) ・北多摩南部圏域6市合同会議参加(5/29、11/6、2/20) 北多摩南部圏域研修会参加(6/25、12/10、3/10) ・区市町村高次脳機能障害者支援促進事業支援員連絡会参加(6/21、12/6) ・いちご会(当事者・家族会)との意見交換と必要な情報共有8回	
31	小平市	小平市健康福祉部障がい者支援課	5	保健師 (市職員・常勤)	保健師が相談窓口として、医療機関や障害福祉サービス事業所等と連携しながら在宅生活の支援。 北多摩北部地域高次脳機能障害者支援ネットワーク協議会(圏域5市)では、総会、運営委員会、事例検討会を実施。 令和5年度は事務局として、運営を担った。事例検討会は対面で人数制限をなくし、多くの支援機関が参加。また、令和6年1月に開催した市民交流事業は当日会場と後日オンデマンド配信。協議会事務局として会場市の東村山市とともに運営を担った。市内高次脳機能障がい者支援担当者連絡会、担当者連絡会を行った。講師は、近隣市で高次脳機能障がい者への支援を行っている支援者。	○	○			○	○	○	○				9	北多摩北部地域高次脳機能障害者支援ネットワーク協議会 5月：第14回総会開催 6月：第1回運営委員会 区市町村高次脳機能障害者支援促進事業連絡会(オンライン)参加 7月：第2回運営委員会 9月：市民交流事業打合せ①(web併用)・登壇者の顔合わせ、内容確認。 10月：事例検討会・2事例をグループで検討した。高次脳機能障害者相談支援研修会参加・市民交流事業打合せ②(web併用) 12月：市民交流事業打合せ③・会場調整、内容最終確認 1月：市民交流事業(会場、オンデマンド) 2月：市内連絡会打ち合わせ・講師調整・内容調整 3月：第3回運営委員会 市内連絡会(対面開催)	面接14件 訪問4件	電話12件 関係機関連絡91件	――	
32	日野市	日野市高次脳機能障害者支援センターつくし	1	精神保健福祉士 社会福祉士	(1)相談支援事業 ・実人数新規相談34人 (2)関係機関等との連携事業 ・南多摩高次脳機能障害者協力施設会議参加 11回 ・カンファレンス24回 (3)社会資源の把握・開拓事業 ・障害福祉サービスや医療機関など、これまでつながりのなかった機関との連携 (4)広報・普及啓発事業 ・高次脳機能障害者関係機関連絡会参加 2回 ・日野市高幡図書館の展示スペースにて「高次脳機能障害ってなんだろう？」のパネル展示を行う。 ・障害者週間におけるパネル展、イベントに参加	○	○	○	○	○	○						5	第1回関係機関連絡会 対象：当事者、ご家族、支援者、市民向け 内容：「高次脳機能障害事例検討会」講師：江村俊平氏、専門職2名、参加者26名 第2回関係機関連絡会 対象：障害、介護福祉サービス事業所、医療機関、高齢・障害・児童行政等 内容：「高次脳機能障害リハビリテーション」石川篤氏、参加者23名 障害福祉課・創隣会定例会 5、9、1月(ケースの共有等)	55件	133件	・高次脳機能障害者向け、クッキング「C00K294」を年6回開催 ・高次脳機能障害「福祉なんでも相談」を年6回開催。 ・ピアサポート茶話会実施 ・高次脳機能障害者相談支援研修会「高次脳機能障害者のピアサポートの現状とこれから」ピアサポート実践報告に登壇 ・日野市高幡図書館と共催で「高次脳機能障害ってなんだろう？」のパネル展を開催 ・高次脳機能障害者家族会かしのきひの定例会に参加 ・南多摩高次脳機能障害支援センター主催の症例検討会にケアマネジャーと登壇	

◆令和5年度区市町村高次脳機能障害者支援促進事業実施状況一覧

区市町村		実施機関	支援員		支援事業の実施状況	連絡会等構成機関一覧											連絡会開催状況		相談状況 ^{注1)}		その他支援普及事業
			支援員数	職種		医療機関	行政機関	保健所・保健センター	支援センター・相談・	就労支援機関	通所等施設関係	当事者・家族会	高齢・介護・看護・	児童・教育機関	社会福祉協議会	その他	開催回数	内容	(直接相談) (実人数)	(延べ 電話 件数 相談)	
33	東村山市	東村山市健康福祉部障害支援課	1	保健師	・主に高次脳機能障害のある方を支援する就労継続支援B型事業所、生活介護事業所、就労支援室、基幹相談支援センター、地域生活支援センターふれあいの郷、包括支援センター等に訪問し、支援者及び利用者と情報交換を実施 ・ケース会議に参加し医療機関やサービスにつながるよう支援 ・担当ケースワーカーが連携し、電話相談、面接相談、訪問相談を実施。 ・関係機関との連携のための情報共有やケース会議は172件 ・「高次脳機能障害者支援促進事業連携会議」年1回開催 ・高次脳機能障害者の方支援リーフレットの更新を実施											1	高次脳機能障害者支援の活動報告、各関係機関より情報提供・情報交換、高次脳機能障害者支援リーフレットについて意見交換を行い最新版に更新。 家族が困っている困難ケースについて事例検討。 高次脳機能障害のある方に対して各事業所で工夫している支援などについて、共有を行った。 高次脳機能障害のある方の社会資源について情報共有を行った。	45件	80件	・地域の関係機関に高次脳支援促進事業について周知し、延相談件数が増加 ・市内の包括支援センターや障害福祉サービスを提供している事業所等に、当市作成のリーフレットを配布 ・高次脳機能障害の方が入所している施設に定期的に電話や訪問を実施 ・都や他市で実施された高次脳機能障害者の支援等の研修会に積極的に参加し、係内で情報共有 ・市内の高次脳機能障害のある方を支援している関係機関に必要時訪問し、事業者や利用者との対話を実施 ・都内の家族会の活動について情報収集し、支援機関や対象者に情報を周知 ・高次脳機能障害者支援関係機関連携会議を年に1回開催 ・高次脳機能障害者支援ネットワーク協議会の市民交流事業で講演	
34	国分寺市	社会福祉法人万葉の里 国分寺市障害者センター内 地域活動支援センターつばさ	2	相談支援専門員／ 相談支援員	1. 相談支援 必要な情報（医療機関、地域資源、制度、福祉サービス、就労、生活技術）や障害理解についての情報提供を実施 2. 関係機関との連携 会場参加とオンライン参加（Zoom）のハイブリッド型の関係機関連絡会を3回開催 3. 社会資源の把握及び開拓 国分寺市と近隣他市の高次脳機能障害者支援を実施する事業所へ訪問し、ネットワーク作りを実施。 4. 広報及び普及啓発 国分寺市における支援拠点機関として、生活支援に必要な情報の提供及び、普及啓発活動を実施。当センター発行の「高次脳機能障害パンフレット」を持参し、高次脳機能障害についての普及啓発を実施。東京都心身障害者福祉センター発行のパンフレット・リーフレットを市民福祉講座開催時に市民や関係機関へ向けて配布。											弁護士事務所、他県区市の支援機関等	3	第1回令和5年6月22日（木）18時～20時 「高次脳機能障害の基礎理解～環境調整と補完手段～」 内容：①講演「高次脳機能障害の基礎理解」（守矢氏）②対談「症状に対する環境調整と補完手段について」講師：東京都心身障害者福祉センター 地域支援課高次脳機能支援担当 課長代理 守矢亜由美氏／一般社団法人一粒福祉会デリオアシス まほろばノワークオアシスアレーズまほろば看護師・高次脳機能障害当事者 長原陽子氏 第2 回令和5年11月8日（水）18時～20時 「当事者と当事者を支える家族、それぞれの思い」 内容：①講演「高次脳機能障害を持つ者の家族から」② 講演「軽度当事者は重度ご家族に何を寄与できるか？」（鈴木氏）③ 鼎談「当事者と当事者を支える家族、それぞれの思い」（三者） 第3回令和6年3月13日（水）17時30分～19時30分 内容：講演「当事者が語る高次脳機能障害と私の就労」	13人	775件	・専門相談（コンサルテーション） ・高次脳機能障害支援普及事業 令和5年度区市町村高次脳機能障害者支援促進事業支援員連絡会参加 ・他団体事業協力
35	国立市	国立市健康福祉部しょうがいしゃ支援課相談支援係	1	精神保健福祉士 言語聴覚士	(1) 高次脳機能障害者の相談支援 (2) 家族会への出席 (3)市内外通所施設の視察・連携強化 (4)講演会等の企画・運営 (5)高次脳機能障害者のためのサロン事業 毎週水曜日 全47回（令和5年4月1日～令和6年3月31日）実施 外出の機会の乏しい方およびしょうがい福祉サービスにつながない方の居場所づくりや、自立の促進を目的として、平成26年度より事業を開始 (6)『高次脳だより』の発行											3	地域の事業所等と連絡会、関係者会議（オンライン会議を含む）等を行った。	65人	838件	【開催・企画実績】 (1)専門職向け研修会「高次脳機能しょうがいの支援 就労について」 ・日時：令和6年3月22日（金）18時15分～20時 ・内容：講演、パネルディスカッション ・講師：蟹江こうじ氏（就労移行支援事業所レジリエンス）、佐々木美知子（就労継続支援B型事業所アレーズまほろば）、吉川直澄（国立市しょうがいしゃ就労支援センター）、 ・専門職向け研修会として会場開催とZOOMにてリモート開催。コロナ後の就労支援機関の動向や取り組み、就労の新しい制度、法改正等、課題をそれぞれ共有し、共通する課題、工夫から得られたものやそこから見えてきた今後への示唆について、パネルディスカッションを実施。 【参加実績】 (1) 家族会への参加：高次脳機能障害者と家族の会多摩支部への参加0回（新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、家族会自体が中止） (2) 高次脳機能しょうがいに関する研修会等への参加：2回	
36	福生市	福生市役所福祉保健部障害福祉課障害福祉係	2	精神保健福祉士 作業療法士	【相談支援】精神保健福祉士：月曜日から金曜日9: 00から12: 00／13: 00 から16: 00 作業療法士：第2火曜日 13: 30から17: 00 【関係機関との連携】毎月第2火曜日に関係機関との連絡会を設け、情報共有。 【社会資源の把握・開拓】研修会及び連絡会を実施し、サービス内容の把握や情報共有。 【当事者・家族の集まり】令和6年2月に家族会を実施。 【広報・普及啓発】広報等で、毎月第2火曜日の高次脳機能障害専門相談の周知と相談支援窓口を案内。											12	・ケース対応検討 ・情報共有 ・近隣病院との連携について ・今後の方向性について	29件	371件	広報、ホームページでの周知	
37	狛江市	狛江市福祉保健部福祉相談課相談支援係	1	精神保健福祉士	中核的な医療機関である東京慈恵会医科大学附属第三病院リハビリテーション科と協働し、「高次脳機能障がい相談茶話会“トーク&トーク”」を開催 参加者からの相談に適宜応じ、適切な助言や情報提供を行い、関係機関へ繋ぐ等の連携を図り、支援体制を構築												開催していない	実人数 10名 延べ人数 20人	・高次脳機能障がい相談茶話会“トーク&トーク” 4回実施（何度も参加される方もおり、外出や交流の場となっている。）		

◆令和5年度区市町村高次脳機能障害者支援促進事業実施状況一覧

区市町村		実施機関	支援員		支援事業の実施状況	連絡会等構成機関一覧											連絡会開催状況		相談状況 ^{注1)}		その他支援普及事業
			支援員数	職種		医療機関	行政機関	保健センター	保健センター	支援センター	就労支援機関	通所等施設関係	当事者・家族会	高齢・看護・介護・	児童・教育機関	社会福祉協議会	その他	開催回数	内容	(直接相談) (実人数)	
38	清瀬市	清瀬市福祉子ども部障害福祉課	2	一般事務	・高次脳機能障害者等専門相談事業専門相談事業 ・高次脳機能障害等を理由とする自立支援医療申請時の相談 ・北多摩北部地域高次脳機能障害者支援ネットワーク協議会への参加	○	○				○						5	・くネットワーク協議会>高次脳機能障害について、各市から1事例を提出。事例検討会の実施 ・失語症者向け意思疎通支援事業についての市民交流事業を実施	1人	2人	—
39	武蔵村山市	武蔵村山市健康福祉部障害福祉課	1	保健師	① 相談支援:相談窓口を設置し、随時相談に対応。ピアカウンセリング(月1回)の実施 ② 関係機関との連携:家族会開催時(月1回)に関係機関も出席。 ③ 社会資源の把握・開拓:村山医療センター(高次脳機能障害リハビリテーション中核医療機関)と協力し、資源の把握・開拓 ④ 広報・普及啓発:講演会の開催(年1回)	○	○				○			○			12	情報交換、情報共有	1人	3人	—
40	多摩市	社会福祉法人多摩市社会福祉協議会	1	社会福祉士	① 相談支援:電話・随時／・「パートナー・家族ための個別相談会」の個別相談実施(全12回) ② 関係機関との連携:関係機関連絡会の開催(2回)対面開催・市民向け学習会、勉強会・家族会への定例会参加(隔月)、連携・区市町村高次脳機能障害者相談支援員連絡会への参加(6,12月)・施設協力会議への参加・南多摩圏域内連絡会への参加(9月)開催2名参加・多摩市障害福祉課との連携、打合せ(2月)・南多摩高次脳機能支援センターとの連携(2月)「症例検討会」に参加 ③ 社会資源の把握・開拓:社会資源の把握・開拓のため、市内外の障害福祉サービス事業所等へ訪問し、情報収集 ④ 広報・普及啓発:「南多摩医療圏域支援マップ」(第3版)の刷新協力・社協広報やホームページを通じた事業の周知	○	○			○	○	○		○	グループホーム	2	・前年度の事業報告 ・各事業所の取り組み ミニ講座「言語聴覚士による地域活動支援」 ・センターあんどが目指す失語症支援」 ・今年度の事業報告 来年度の事業スケジュール ・各事業所の取り組み ・ミニ講座「就労継続支援B型の立上げと高次脳機能障害者支援の工夫」(NPO法人モノリス)	67人 延べ 81件	103人 延べ 301件	① 広報普及 ・図書コーナーでの関連図書の展示・閲覧 ② サポーターの育成・登録、グループ活動での実践2名	
41	稲城市	稲城市障害者総合相談センター マルシェいなぎ	1	社会福祉士 士 精神保健福祉士	1. 相談支援(随時) 2. 当事者、家族の集いの開催(5月～3月まで計9回実施) 3. 広報・普及啓発 ・広報誌の発行 ・障害に関する勉強会の開催(令和6年3月9 日高次脳機能障害啓発事業～おかしいな、何か変だな、うまくいかないな」と題し、市民・支援者支援機関対象とする講演会を実施) 4. 社会資源の把握・開拓(支援マップの更新。市内リハビリテーション病院に連絡し、支援マップ登録のお願い及び連絡会の参加の依頼を実施) 5. 障害者就労支援センターとの連携(同法人が事業者) 6. 近隣市病院・近隣市高次脳機能障害支援促進事業所との連絡会(月1回)	○	○			○	○			○		1	・講演『高次脳機能障害の理解』 ・高次脳機能障害支援促進事業・情報提供 ・状況報告 マルシェいなぎ ・その他情報共有等 各機関より	54件 (14人)	356件	・南多摩高次脳機能障害支援センター協力施設会議参加(12回) ・南多摩圏域内高次脳機能障害者支援連絡会(1回) ・区市町村高次脳機能障害者支援促進事業支援員連絡会(1回) 南多摩高次脳機能障害支援センター協力施設会議では、各市や団体の近況報告と情報共有、事例検討会を実施。南多摩圏域内及び市区町村の高次脳機能障害支援連絡会にて、高次脳機能障害に関わる最新の情報共有、事例検討など実施。	
42	羽村市	羽村市福祉健康部障害福祉課	3	保健師 作業療法士	① 高次脳機能障害者及びその家族等に対して相談支援を実施。 ② 医療機関、就労支援センター、就労移行支援事業所、地域活動支援センター等の関係機関と連携													9件	96件	・地域活動支援センターとの情報共有 ・就労支援センターとの情報共有 ・就労移行支援事業所との情報共有 ・家族会との情報共有 ・就労継続支援事業所の見学同行	
43	あきる野市	あきる野市健康福祉部障がい者支援課	1	保健師	1啓発ティッシュの製作 市内公共機関等に配置し、広く市民に啓発 2周知ポスターの製作 公共機関等に配布し、掲示を依頼 3高次脳機能障害相談への対応	○				○		○					必要に応じ、各機関との連携を図った。 ケース対応の検討、状況報告、情報共有。	16人	21件	—	
44	西東京市	西東京市保谷障害者福祉センター	1	相談支援専門員	・高次脳機能障害の市民、家族向けの電話相談を実施。 ・センター通所者の利用者・家族の相談会(東京病院リハビリテーション科新藤医師)を9月と11月に実施。	○					○				グループホーム	2	「高次脳機能障害 相談会」に向けて東京病院リハビリテーション科新藤医師と打ち合わせを行った。(8月、11月)	40人	82件	・高次脳機能障害相談会開催 9月、11月 ・西東京高次脳当事者会 当事者主催の茶話会等を側面支援した。(計12回) ・社会貢献型後見人研修プログラム講師派遣(西東京市社協より依頼)5月 ・区市町村高次脳機能障害者支援促進事業支援員連絡会出席 6月/12月 ・北多摩北部地域高次脳機能障害者支援ネットワーク協議会 事例検討会出席 10月 ・北多摩北部地域高次脳機能障害者支援ネットワーク協議会市民交流事業「高次脳機能障害者と共に～地域に戻る・地域で暮らす」出席・登壇 ・国立病院機構・東京病院研修会出席 12月 ・高次脳家族会参加 2月 ・武蔵野市高次脳機能障害者関係機関連絡会出席 3月 ・令和5年度小平市高次脳機能障がい者支援担当者連絡会 講師派遣	
45	奥多摩町	奥多摩町福祉保健課	1	保健師	年48回(月4回)の高次脳機能障害の相談窓口を開設。 広報にて、毎月の相談窓口の周知と高次脳機能障害についての周知をし、相談窓口の存在を認識できるよう努めた。相談者の状況に応じて、相談日以外にも対応。	○					○	○					会議は行っていないが、個別のケースにおいて、若者定住推進課、環境整備課町内精神科医などと連携し、対応を行った。	1名 述べ相談 件数3件	3件	—	